

令和3年9月16日14時00分
資料配布 近畿地方整備局

近畿圏パーソントリップ調査へのご協力をお願いします！ ～人の1日の動きを調査し、将来のまちづくりや交通計画などに活用します～

人の1日の動きを調べる「第6回近畿圏パーソントリップ調査」を9月下旬から11月にかけて実施します。調査票が届きましたら、郵送又はインターネットにて回答いただきますよう、ご協力をお願いします。

■調査概要

近畿圏パーソントリップ調査は皆様の1日の動き(いつ、どこからどこへ、移動の目的、利用交通手段など)を調べるもので、調査結果は、将来のまちづくり、交通計画、防災対策等を検討するための大切な情報となります。

なお、今回は新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う活動頻度や利用交通手段の変化についてもあわせて調査します。

調査期間：令和3年9月下旬から11月

対象地域：滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県

調査対象：対象地域に居住する無作為抽出した約44万世帯のご家族

※ 調査票が届いた世帯の居住者(5歳以上)が調査対象者です。

回答方法：調査票の返送(郵送)またはインターネットによる回答

※ 調査票はすべて個人が特定されない集計データとして処理します。

調査主体：国土交通省 近畿地方整備局、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

※ 本調査において、国や地方公共団体の職員、調査員等が調査の依頼や調査票回収のため、ご自宅への訪問や、電話・電子メールでの調査の依頼、個人や世帯の情報の聞き取りを行うことは絶対にありません。

統計調査をかたって世帯の情報等を搾取する行為にご注意ください。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> (京阪神都市圏交通計画協議会 事務局)

国土交通省 近畿地方整備局 企画部

広域計画課長

建設専門官

TEL: 06-6942-1141(代表) 06-6942-4090(直通)

よしむら ひでじ
吉村 英二 (内線3211)

ふじわら かつや
藤原 克也 (内線3212)

FAX: 06-6942-7463

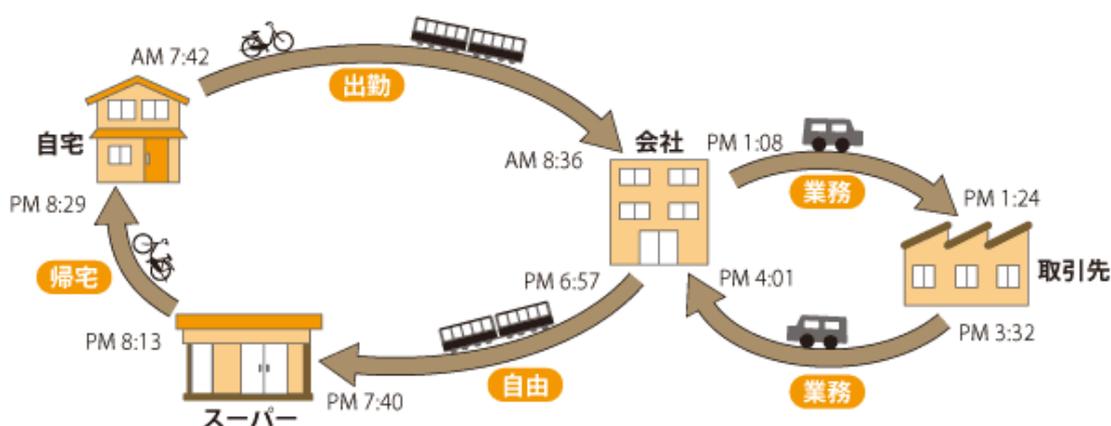
第6回近畿圏パーソントリップ調査の概要

■ パーソントリップ調査について

近畿圏パーソントリップ調査は、「いつ」「どこからどこへ」「どのような目的で」「どのような交通手段を利用して」移動したのかについて調査し、1日の動きを総合的に把握することを目的として、10年毎に実施している交通の基礎調査です。

調査結果は、交通の基礎データとして、将来のまちづくり、地域の交通計画、防災対策など、様々な計画策定に利用されています。

なお、今回の調査においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う活動頻度や利用交通手段の変化についてもあわせて調査します。



【調査概要】

調査期間 令和3年9月下旬から11月

※ 調査票を9月下旬より郵送配布します。調査の対象となる日は、配布する調査票に記載された平日、休日各1日です。

対象地域 滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県の全域

調査対象 対象地域に居住する住民基本台帳から無作為に抽出した約44万世帯のご家族(5歳以上の方)

※ 調査対象となる世帯に調査票が届きます。届いた方が調査対象者です

回答方法 郵送及びインターネット

※ 調査票とともに返信用封筒を同梱しています。

※ 調査票はすべて個人が特定されない集計データとして処理します。

※ ご回答の正確なデータ化のため、可能であればインターネットによる回答をお願いします。

調査主体 国土交通省近畿地方整備局、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県、京都市、大阪市、堺市、神戸市

※ 本調査において、国や地方公共団体の職員、調査員等が調査の依頼や調査票回収のため、ご自宅への訪問や、電話・電子メールでの調査の依頼、個人や世帯の情報の聞き取りを行うことは絶対にありません。



政府統計

教えてください、



あなたの**1日**の動き。



このまちを、もっと安全に、もっと快適に。

近畿圏

パーソナル トリップ



調査



活動の場所や移動手段など、みなさまの1日の動きをお聞きし、
交通対策や防災計画、環境改善など、より安全でより快適なまちづくりに活かしていきます。

※新型コロナウイルス感染拡大の影響に伴う活動頻度の変化等に関する調査もあわせて行います。

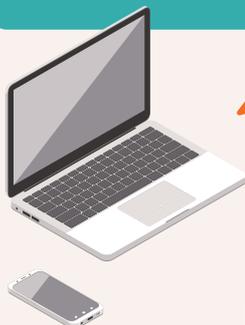
調査地域：滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県

調査対象者：調査地域の全世帯約936万世帯のうち無作為に選ばれた
約44万世帯（5歳以上が対象）※調査票が届いた方が調査対象者です。

調査
期間

令和3年 9月 ▶▶ 11月

京阪神都市圏交通計画協議会



調査票が届いた方が調査対象者です。
スマートフォンやタブレットなどを用いて
インターネットで簡単に回答できます。

本調査は、郵送により届いた調査票、インターネットの
どちらからでも回答できます。
ご家庭に調査票が届いた場合は、本調査への回答に
ご協力をお願いします。

京阪神都市圏交通計画協議会とは、京阪神都市圏内の国土
交通省、府県・政令指定都市及び関係機関において設立された、
京阪神都市圏における総合的な都市交通計画の推進に必要な
調査研究を行う組織です。

京阪神都市圏は、京都市・大阪市・堺市・神戸市の大都市や大津
市・奈良市・和歌山市などの中核都市が共存する多核型の都
市圏です。

<https://kinki-pt.jp>

近畿PT

検索

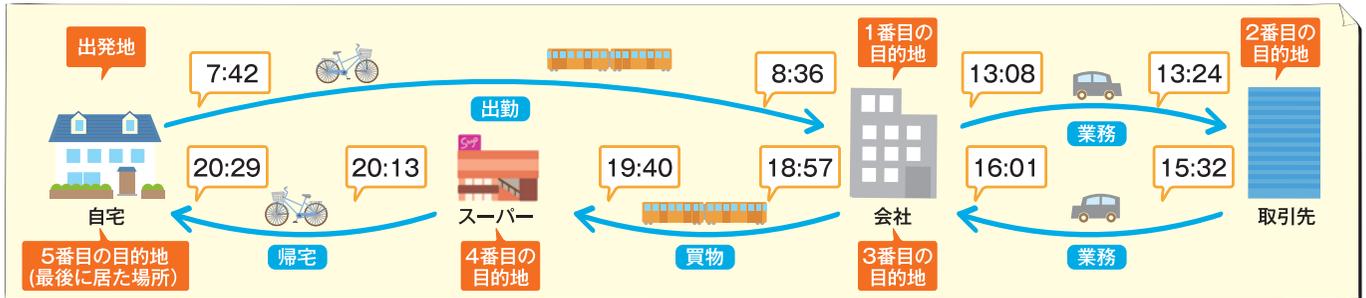
パーソントリップ調査とは

人が1日に行った

「活動」(どこで、何をしたか)と「移動」(いつ、どのような交通手段を利用したか)

について調査し、近畿圏全体の人の移動の実態を把握するものです。

近畿圏パーソントリップ調査は、昭和45年以降概ね10年毎に実施しており、今回で第6回目を迎えます。



調査結果は、どのように使われているの？

調査結果は、交通分野・観光地域活性化分野・防災分野など、様々な分野で活用され、

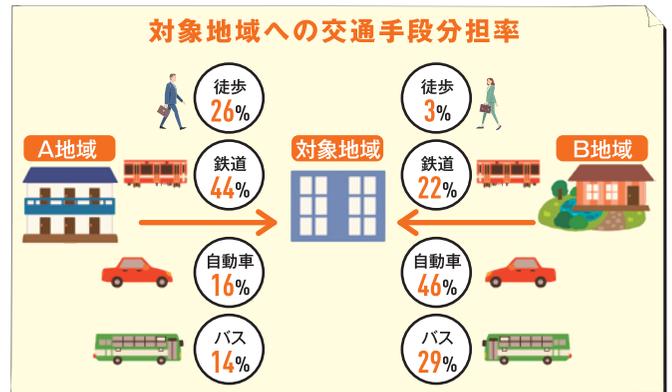
安全で快適なまちづくりのための貴重な情報となります。その中から、具体的な例をご紹介します。

交通

開発による交通への影響の検討

ある地域に、どれだけの人が、どのような交通手段で集まっているのかが分かります。

道路混雑の解消や快適に通行できる生活環境づくり、自転車や歩行者が安全で快適に通行できる空間づくり、駐車場・駐輪場の計画などに活用できます。



四条通歩道拡幅(京都市)



駅前広場の計画・整備(明石市)

他にも、こんな分野で活用されています。

- 福祉分野では 高齢者の外出支援施策が必要な地域の選定
- 環境分野では 自動車などのCO₂排出量の予測に
- 防災分野では 大規模災害時の帰宅困難者の予測に
- 都市開発分野では 来訪者の特性を踏まえたマーケティング戦略の検討

観光地域活性化

路線バス網の計画

現在の交通網とその利用状況から、バス本数の過不足などの問題点が把握できます。

利便性の高い路線バス網の計画に活用できます。

